

小中学校保護者 連絡ツールの利用料

36万9600円

配布物の電子化、連絡事項などの保護者への伝達及び欠席等の連絡を行うために導入するものです。

議員 導入時期について問う。

市 4月から使用できるよう準備をしている。

議員 保護者が使用する媒体について問う。

市 各自のスマートフォンやタブレット、パソコンなどで使用することができる。なお、QRコードを読み取り、登録して利用することができ、子供1人当たり3アカウントまで登録することができる。

働き方改革支援事業 (業務委託)

新規事業 1500万円

企業の経営層を対象とした講演会や企業内の職場改革推進リーダーの育成セミナーの実施、さらに伴走支援※1を3社程度実施するものです。

これらの取組は市内企業の働き方や職場改革推進の支援をすることで、若年層や女性に選ばれる職場を増やし、人材確保を目指す目的として行います。

※1伴走支援とは、支援者が当事者に寄り添い、対話などを重ね、課題設定や課題解決に向けてサポートすること。

議員 どのような企業に委託する予定なのかについて問う。

市 他自治体で実績のある事業者を公募し、選定したいと考えている。

特定保健指導未利用者対策事業

(国民健康保険特別会計予算)

新規事業

83万6000円

メタボリスクが出始めた方を対象に生活習慣改善のきっかけを提供するための事業です。支援者に対し体組織測定、毛細血管測定、健康講話などを行い、特定保健指導の利用向上を図ります。

書かない窓口へ

新規事業

359万円

これまで住所の異動などによる各種届出や申請手続きの際、窓口にいらっしゃった方は、申請書に何度も住所や氏名などを書かなければならず負担となっていました。また、時間がかかり窓口の混雑にもつながっています。

令和8年度からマイナンバーカードを利用した「書かない窓口」を導入することにより、これらの問題を解決します。この予算は、「券面読み取りシステム」と「らくらく窓口証明書交付サービス」の導入経費となっています。

議員 システム操作に不慣れな市民への対応について問う。

市 これらのシステムについては、市民課の窓口配置し、職員が聞き取りをしながら一緒に操作をし、対応していく。

議員 記載が全く不要になるのかについて問う。

市 全く不要ではない。「券面読み取りシステム」においては、基本4情報(氏名、住所、生年月日、性別)をマイナンバーカードで読み込み、帳票に印字するもので、それ以外の追記やチェック部分は記入する必要があります。

新年度予算額一覧		
一般会計予算		175億6,500万円
国民健康保険特別会計予算		32億2,000万円
後期高齢者医療特別会計予算		6億1,800万円
介護保険特別会計予算		41億1,112万円
光陽地区造成事業特別会計予算		13億4,778万円
下水道事業 会計予算	収益的支出	12億4,970万円
	資本的支出	8億5,777万円

※万円未満は四捨五入しております。



令和8年第2回3月定例会は、3月2日から3月19日までの18日間の会期で行われ、市長提案の36議案・議会提出の2議案・請願1件・陳情1件を議決しました。
「」では、新年度から始まる主な事業や予算の内容、委員会の審査状況についてお知らせします。